

令和元年度 第8回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和元年11月15日（金）午後1時30分～午後4時30分

会 場 下野市役所3階 教育委員会室

出席委員 教 育 長 池澤 勤 職務代理者 永山 伸一
委 員 三橋 明美 委 員 熊田 裕子
委 員 石嶋 和夫

出席職員 教育次長 坪山 仁
教育総務課長 近藤 善昭
学校教育課長 田澤 孝一
生涯学習文化課長 手塚 芳子
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
学校教育課主幹兼指導主事 白石 孝子
教育総務課副主幹 高山 倫宏
教育総務課主事 岡野 祐衣

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍聴者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和元年12月13日

議 題

第34号 下野市就学支援委員会の判定結果について（第2回答申）

協議事項

（1）第14回教育のつどい開催計画（案）

報告事項

- （1）教育委員会後援等の承認について
- （2）とちぎっ子学習状況調査（教科）分析結果について
- （3）令和元年度中学校 新人大会の主な結果報告について
- （4）公民館マニュアルについて

その他

- （1）令和元年度下野市教職員全体研修会（研究発表会）の開催について
- （2）第3回下野市プログラミングコンテストについて

- 1 開会
- (池澤教育長) 2 教育長挨拶及び報告
- ・ 10月19日 市民文化祭開幕式
 - ・ 10月22日 即位礼正殿の儀
 - ・ 10月23日 市長のいきいきタウントーク（南河内公民館）
 - ・ 10月25日 台風の影響によりグリムの館で予定されていた市長のいきいきタウントークが中止となった
 - ・ 10月26日 市長のいきいきタウントーク（友愛館）
 - ・ 同日 市内4中学校の文化祭
 - ・ 10月27日 市産業祭
 - ・ 10月30日 市内小学校陸上記録会
 - ・ 11月 2日 薬師寺小、吉田東小、石橋北小の文化祭
 - ・ 11月 3日 天平の芋煮会
 - ・ 11月 5日 児童表彰517名の表彰が終了
 - ・ 11月 9日 細谷小の文化祭
- 以上の報告内容について質疑等はあるか。（特になし）
- 3 議事録署名委員の指名 三橋委員及び石嶋委員
- 4 前回議事録の承認
- 第7回教育委員会定例会議の議事録について確認をお願いする。
- (高山副主幹) 修正点等について説明を行う。
- (池澤教育長) 議事録はこのとおり承認とする。
- 5 議案
- (池澤教育長) 議案第34号については個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。
- (全委員異議なし)
- それでは非公開で行うことに決定する。
- 第34号「下野市就学支援委員会の判定結果について（第2回答申）」について説明を求める。
- 以下、非公開。
- (池澤教育長) このとおり決定してよろしいか。（全委員承認）
- 議案第34号は原案どおり決定する。
- 6 協議事項
- (池澤教育長) (1)「第14回教育のつどい開催計画（案）」について説明を求める。
- (近藤教育総務課長) 資料に基づき説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (石嶋委員) 集合時間は何時か。
- (近藤教育総務課長) 8時30分集合でお願いしたい。
- 7 報告事項
- (池澤教育長) (1)「教育委員会後援等の承認について」説明を求める。
- (近藤教育総務課長) 資料に基づき説明を行う。

- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (熊田委員) 「JAL Presents スポーツ能力検定会 in 栃木」となっているが、栃木県内の会場は石橋体育センターのみなのか。
- (近藤教育総務課長) そのとおりである。
- (若林スポーツ振興課長) この検定会は全国を回っており、今年度は栃木県での開催となった。
- (坪山教育次長) 下野市が大松山運動公園などを通して、スポーツに取り組む小中学生の受入に力を入れていることを理解していただいたということも、下野市が会場に選ばれた要因の一つであると考えられる。
- (池澤教育長) 続いて(2)「とちぎっ子学習状況調査(教科)分析結果について」説明を求める。
- (田澤学校教育課長) 資料に基づき説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (熊田委員) どんな問題ができなかったのかが具体的に資料に示してあり、分かりやすい。
- (石嶋委員) 単語の問題の正答率が低いにもかかわらず、対話の問題の正答率が高いことが不思議である。また、記述式の問題の無回答率が減ってほしい。
- (田澤学校教育課長) 国語の漢字や理科の語句の問題の正答率が低いということからもわかるように、下野市全体において、応用はできるが基礎が弱い傾向にある。基礎を使いながら応用に繋げていく指導をしていかなければならない。
- (池澤教育長) 続いて(3)「令和元年度中学校 新人大会の主な結果報告について」説明を求める。
- (田澤学校教育課長) 資料に基づき説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (石嶋委員) 資料に部員数が書いていない部分があるが、部活動としてではなく、個人を先生が引率して大会に出場しているということなのか。
- (田澤学校教育課長) そのとおりである。常時活動ではなく、大会の時期のみ引率者を付けて対応している。
- (池澤教育長) 続いて(4)「公民館マニュアルについて」説明を求める。
- (手塚生涯学習文化課長) 資料に基づき説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (永山委員) 下野市教育委員会では「公民館振興計画」を策定している。その中で、「市民の要望や満足度を継続的に把握するとともに、公民館評価のためのマニュアルを作成して各館における内部評価と市民の代表である公民館運営審議会による外部評価を実施し、公民館運営の改善等に繋げ更なる向上を図ります。」と示している。しかし、この公民館マニュアルには内部評価が存在していない。
- (手塚生涯学習文化課長) 「実績・成果(目標)」が内部評価にあたり、これに基づいて公民館運営審議会委員の皆様は外部評価していただく。
- (永山委員) 「公民館振興計画」において内部評価と外部評価を行うと示しているが、マニュアルにおいても内部評価と外部評価という文言をそのまま使用した方が良いのではないか。
- 評価実施者についても、公民館運営審議会委員と書いてあるところもあれば公民館運営審議会と書いてあるところもある。市民目線で見ると、

この違いが分からない。

また、「作成にあたって」の中に、「公民館運営事業というのは、市で実施している周知・啓発等を目的とした一般的な事業とは違い、単純に『何名が参加した』『何回実施した』等の結果だけで成果を測りきれものではない」とあるが、この表現だと市の事業がただ数字のために行われているように捉えられてしまうので、変えた方がよい。

(手塚生涯学習文化課長)

公民館の館長も含めて、担当者レベルでもう一度検討させていただく。

8 その他

(池澤教育長)

(1)「令和元年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の開催について」説明を求める。

(田澤学校教育課長)

資料に基づいて説明を行う。

(池澤教育長)

質疑等はあるか

(石嶋委員)

何を発表するのかが分かったほうが良いので、次第の中にもテーマを入れていただきたい。

(田澤学校教育課長)

そのように対応させていただく。

(池澤教育長)

続いて(2)「第3回下野市プログラミングコンテストについて」説明を求める。

(田澤学校教育課長)

資料に基づいて説明を行う。

(池澤教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

その他連絡事項等はあるか。

(山口文化財課長)

南河内中学校区義務教育学校建設に伴う発掘調査の現地説明会と、シンポジウム「古代のしもつけを探る～飛鳥と東の飛鳥～」を開催する旨の説明を行う。

(手塚生涯学習文化課長)

前回の教育委員会でご指摘いただいた「生涯学習文化課実施講座 令和元年度上半期実績」の一覧について、差し替えをお願いする旨の説明を行う。

次回の教育委員会は12月13日(金)午後1時30分からの予定とする。本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時30分閉会。